

市民生活構造動向研究会メンバー（五年度）

白見 好生 野村総合研究所社会生活研究部生活・サービス研究室室長  
井上 浩嗣 野村総合研究所社会生活研究部生活・サービス研究室  
園生 賢一 野村総合研究所社会生活研究部生活・サービス研究室  
横松 四郎 企画財政局企画調整室調査担当部長  
古畑 正孝 企画財政局企画調整室調査担当課長  
高橋 三男 企画財政局企画調整室調査担当係長  
加藤 勝彦 企画財政局企画調整室調査担当

市民生活構造動向研究会メンバー（六年度）

白見 好生 野村総合研究所社会生活研究部生活・サービス研究室室長  
井上 浩嗣 野村総合研究所社会生活研究部生活・サービス研究室  
園生 賢一 野村総合研究所社会生活研究部生活・サービス研究室  
中丸 宏 企画局調査担当部長  
五島 哲男 企画局政策部調査課長  
安楽岡信夫 企画局政策部調査課担当係長  
加藤 勝彦 企画局政策部調査課

庁内ヒアリングメンバー（五年度）

土井良多江子 神奈川区福祉課福祉援護係  
安田 雅 西区福祉課福祉援護係  
岡田 朋子 中区福祉課福祉援護係  
藤沢 順子 南区福祉課福祉援護係  
矢野 亮 民生局みどり母子寮  
須藤 八千代 民生局とさわ学園  
山本 文子 衛生局港湾病院医事課  
橋本 黎子 横浜女性フォーラム相談グループコーディネーター

庁内ヒアリングメンバー（六年度）

土井良多江子 神奈川区福祉課福祉援護サービス係  
藤沢 順子 南区福祉課福祉援護サービス係  
岡田 朋子 緑区福祉課福祉援護サービス係  
矢野 亮 福祉局みどり母子寮  
高坂 洋一 福祉局三春学園  
須藤 八千代 福祉局とさわ学園  
橋本 黎子 横浜女性フォーラム相談グループコーディネーター

本号の主な参考文献

- (1) 経済企画庁「平成四年度 国民生活白書―少子社会の到来、その影響と対応」（一九九三年）
- (2) 厚生省「国民生活基礎調査」（一九九三年）
- (3) 厚生省「第一〇回出生動向基本調査」（一九九三年）
- (4) 厚生省人口問題研究所「都道府県別未婚率と初婚年齢の推移」（一九九三年）
- (5) 厚生統計協会「国民の福祉の動向」（一九九四年）
- (6) 直井道子「高齢者と家族」サイエンス社（一九九三年）
- (7) 村山祐一「保育園はどう変わるべきか」ひとなる書房（一九九三年）
- (8) 岡澤憲美・奥島孝康編「スウェーデンの社会」早稲田大学出版部（一九九四年）
- (9) 藤岡純一編「スウェーデンの生活者社会」青木書店（一九九三年）
- (10) 横浜市企画財政局「横浜市民意識調査―特集：家族・家庭について」（一九九四年）
- (11) 横浜市企画財政局「調査季報―一五号」（一九九三年）
- (12) 横浜市市民局「資料集 横浜の女性1993」（一九九三年）

あとがき

本号は、平成五年度・六年度の市民生活構造動向基礎調査「家族形態・家族機能の変化の要因とその影響、社会の対応」の調査結果を中心に、「多様化する家族と支援施策の方向」としてまとめたものである。

市民生活構造動向調査は、平成四年度にスタートした。平成四年度の調査結果は、市民生活構造に関する動向と課題・解決方向を整理し、調査季報二五号「横浜の市民生活―課題と解決の方向」として発行している。この中で、「市民生活に関する課題と政策展開の方向」を提示し、「市民生活を規定する大きな流れ」として「市民生活の基本的属性の変化と新たな政策ニーズ」など五点をあげた。

この整理に基づき、平成五年度からは、「市民生活の基本的属性の変化と新たな政策ニーズ」の中心テーマとして、変化の著しい「家族」を取り上げ、市民生活構造動向研究会を設置し、調査・研究を進めてきた。

調査の概要、調査結果の概要は「1多様化する家族と支援施策の方向」に述べている通りである。家族は形態だけではなく、機能も大きく変化し、多様化してきている。多様化した現在の家族がどこに向かおうとしているのかは、はっきりしないが、多様化している現実を把握することが、まず大事であろう。その上で、個人個人が、やむを得ない選択ではなく、自分の意思で生き方を決められる条件整備を行い、さまざまな支援施策を進めること、これが、現在の自治体に課せられた使命であろう。特集テーマを「多様化する家族と支援施策の方向」としてまとめたのもそのためである。報告については、庁内関連部署からのコメントも掲載した。家族も歴史的な存在であり、現在の姿が不変ではありえないことを踏まえて… 〈加藤〉

「調査季報」は職員が自由に意見を発表し討論する行政研究誌です。「行政研究」への投稿も歓迎します。研究の概要をA4紙三枚以内にとり、電話六七一一二〇二九。 「読者のページ」へもご投稿ください。市政、都市問題、自治体問題等、題材は自由。 一〇〇〇字以内。